

2026年4月24日
 日本株

 りそなホールディングス 市場企画部
 ストラテジスト 武居 大暉、渋谷 和樹

日米欧 Market View: 日本株需給(4/13~4/17)と Weekly データ集

海外は3週連続の買越し(現先合計)

要約

- ▶ 主体別売買動向によると、4/13~4/17にかけて海外は現先合計で約1兆800億円の買越し(3週連続)。個人は約3,300億円の買越し(4週ぶり)。GPIFの売買動向と連動する信託銀行は約1,900億円の売越し(2週連続)。企業の自社株買いを反映する事法は約700億円の買越し(3週連続)(図表1)。GPIFによる日本株の買い余地は約2兆500億円と推計
- ▶ 日本株はファンダメンタルズに基づく26年末想定レンジの下限近辺。将来のファンダメンタルズや資本効率性の改善を考慮すると、中期では上昇余地が大きく、押し目買いを検討したい。今後1週間程度の日経平均株価の想定レンジは58,000円~61,000円。但し、海外短期筋の利益確定売りに留意
- ▶ 事業法人の高水準の自社株買いが継続。足元で5兆円程度の買い余地があろう

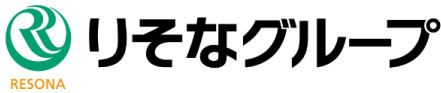
海外は3週連続の買越し(現先合計)

主体別売買動向によると、4/13~4/17にかけて海外は現先合計で約1兆800億円の買越し(3週連続)。個人は約3,300億円の買越し(4週ぶり)。GPIFの売買動向と連動する信託銀行は約1,900億円の売越し(2週連続)。企業の自社株買いを反映する事法は約700億円の買越し(3週連続)(図表1)。GPIFによる日本株の買い余地は約2兆500億円と推計(図表1)。

同期間のTOPIXは上昇した。月曜日は、米国とイランの和平協議難航を受けた原油高、国内金利の上昇が重しとなり、リスク回避の売りが優勢となった。しかし、その後水曜日にかけては、米国とイランの協議進展への期待や原油価格の落ち着きを背景に投資家心理が改善し、半導体株やソフトウェア株を中心に買い戻しの動きが強まった。木曜日は、前日の米株高に加え、台湾の半導体大手TSMCの好決算も追い風となり、半導体関連がけん引し日本株は大きく上昇した。もっとも、週末金曜日は、前日までの急ピッチな上昇の反動のほか、原油高も警戒され、利益確定売りが優勢となった。

海外勢は、米国とイランの交渉進展が期待され、前週に続きリスク資産に資金を振り向ける動きになったとみられる。一方、逆張り志向の強い個人は、週初の下げを押し目の好機と捉えて買い向かったとみられる。事業法人は、自社株買いの動きが継続し、日本株を下支えた。

足元の投資家センチメントを確認すると、信用倍率(4/17申し込み現在)は5.8倍と前週比上昇(図表2)。信用買い残は増加、信用売り残は小幅減少。また、4/23時点の空売り比率(20日MA)は39.6%と前週比小幅低下、日経VIは27.1ptと前週比低下となった。空売り比率は高水準であり、米国とイランの協議次第では、内需企業を中心にショートカバー発生余地がある。来週は日米のAI関連企業の好決算を受け、最高値圏を維持しよう。来週の日経平均株価の想定レンジは58,000円~61,000円。



図表 1：主体別売買動向

単位：10億円	先物(海外)			現物						指数 TOPIX (pt)
	合計	TOPIX型	日経型	海外	個人	法人				
						投資信託	事法	金融機関 生損保+銀行 信託		
2026/3/21	84.4	330.6	-246.1	-519.1	338.4	9.4	-165.0	-23.5	-59.9	3,609.4
2026/3/28	-612.2	-247.8	-358.9	-1,509.1	-14.6	356.3	-4.5	-62.2	-103.4	3,649.7
2026/4/4	-1,411.3	-986.8	-421.8	1,915.0	-439.6	103.1	22.9	-77.3	142.6	3,645.2
2026/4/11	-88.3	-422.1	332.9	1,641.9	-787.1	-148.7	12.2	-116.2	-55.2	3,739.9
2026/4/18	84.5	-315.8	397.9	997.7	330.3	-92.1	70.0	-99.6	-185.5	3,814.5

■ GPIFの保有国内株式割合を仮に25%にするとした場合に必要な売買額の推計

	2026/04/23 時点の必要な売買額	25年12月末以降の信託銀行 の累積売買金額	差し引き
保有国内株式割合を仮に25%にする とした場合に必要な売買額の推計	-3.04 兆円	-5.09 兆円	2.05 兆円

出所：QUICK, Bloomberg

図表 2：信用取引及びボラティリティ関連指標

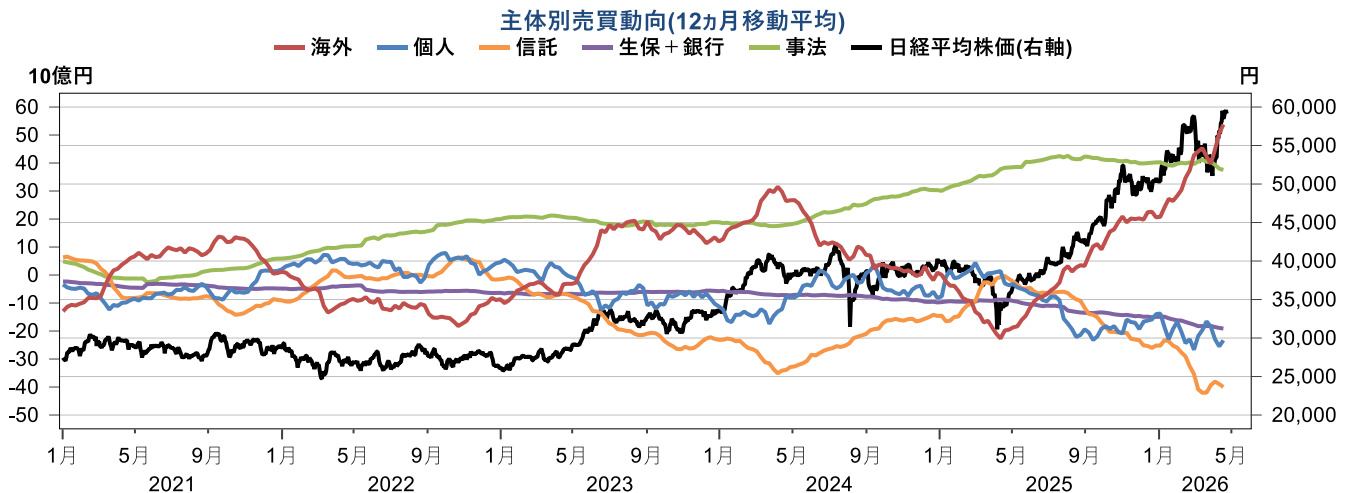
	信用取引関連指標				日経VI	ボラティリティ関連指標			
	信用倍率 (信用買残/ 信用売残)	信用取引現在高(10億円)		空売り比率 (20日MA)		日経オプションのインプライド・ボラティリティ			
		信用買残	信用売残			1M 25 Delta Put	1M 25 Delta Call	1M 5 Delta Put	1M 5 Delta Call
2026/3/9	5.8	5,718.1	979.4	37.9	57.0	49.9	39.9	79.2	35.6
2026/4/2	3.5	5,442.0	1,542.0	40.6	42.4	40.1	29.7	57.4	29.3
2026/4/9	6.1	5,270.5	868.0	40.5	33.9	30.6	27.7	46.9	25.3
2026/4/16	5.3	5,156.5	973.3	40.1	28.6	30.7	24.9	42.2	25.2
2026/4/23	5.8	5,486.0	943.4	39.6	27.1	32.6	26.4	45.5	26.2

■差分

vs 3/9(中東情勢懸念のピーク)	0.0	-232.2	-35.9	1.7	-29.9	-17.3	-13.5	-33.7	-9.4
vs 前週	0.5	329.5	-29.9	-0.4	-1.5	1.8	1.6	3.3	1.0

出所：QUICK, Bloomberg

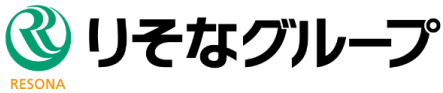
図表 3：株式需給の重要指標まとめ



◎注意事項

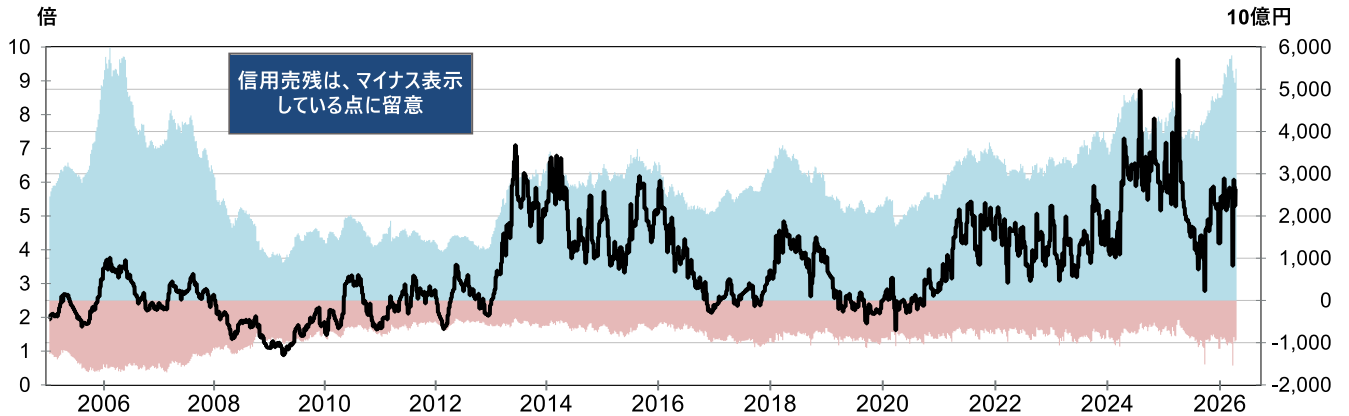
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



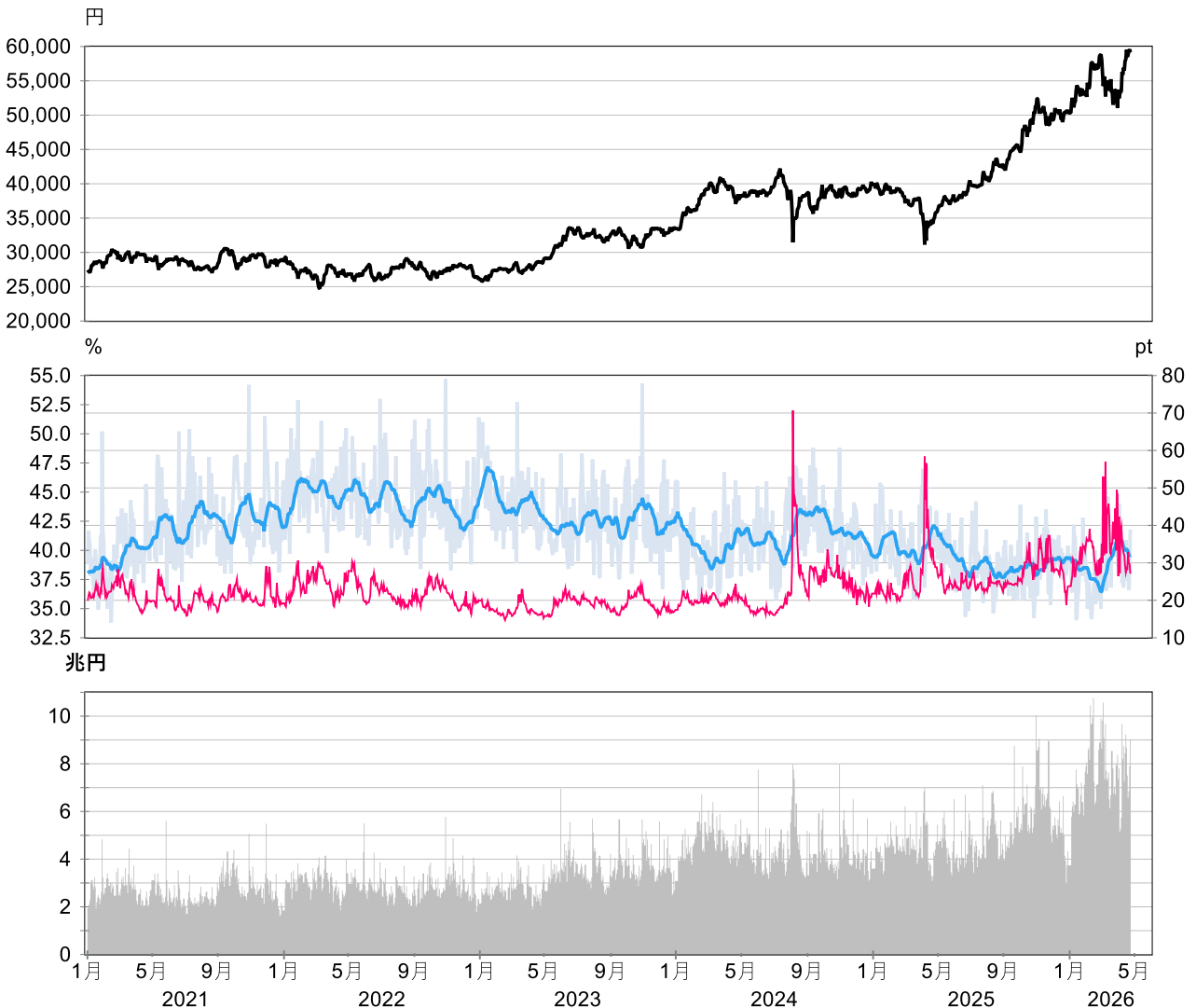
信用残高と信用倍率

— 信用倍率(信用買残+信用売残) ■ 信用売残(右軸) ■ 信用買残(右軸)



日経平均株価と空売り比率

— 日経平均株価(右軸) — 日経VI — 空売り比率(20日移動平均) — 空売り比率 ■ 東証プライム 売買代金

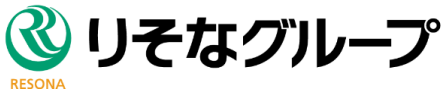


出所: Bloomberg、マクロボンド

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

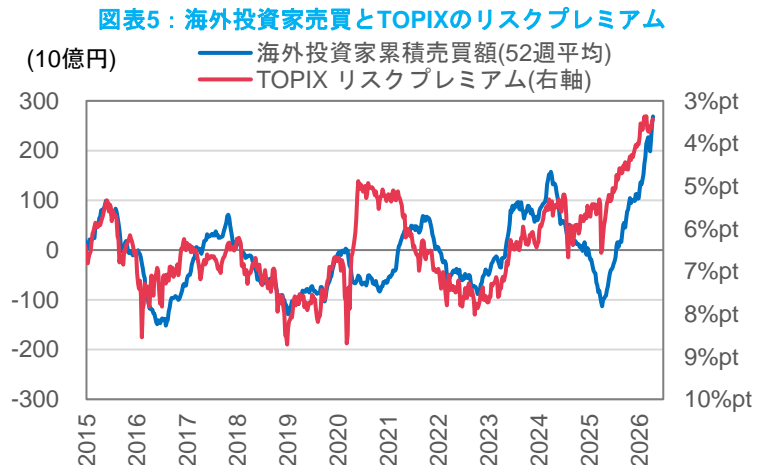
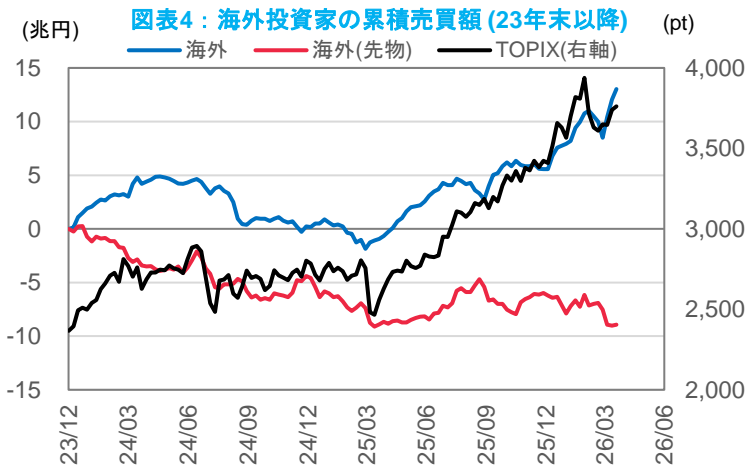


海外投資家動向:短期筋の日本株ポジションは横ばい圏か

短期筋の動向を示す先物について、1月は売り越し傾向であったため、2月は与党の大勝、好決算、エヌビディアの決算への期待等を背景に大きく買い戻しが進んだとみられる。しかし、その後3月に入ってから、主要イベントを通過したこと、中東情勢の悪化という予期せぬリスクが台頭してきたことを理由に、買いが手控えられた。

足元では、AI関連企業のウェイトが大きい日経平均株価連動型は買い越しの一方で、原油高等の悪影響を受けやすいTOPIX型を売り越し傾向が確認されている。中東情勢が鎮静化に向かうと、逆の取引を行うことが見込まれるが、GPIFの買い越し余地と個人の逆張り傾向を踏まえると、過度な懸念は不要とみられるが、むしろ上値が重くなる可能性に留意したい。

なお、TOPIXのEPSとNT倍率を使って日経平均株価のバリュエーションを判断すると、NT倍率15.5倍の時に、ファンダメンタルズに基づく足元の理論値は56,500円～59,500円程度である。足元の株価はこのレンジの上限付近であるが、26年末までに予想EPSは足元の水準から10%～15%程度改善し、妥当レンジは62,000円～65,500円程度まで上方修正される見通しのため、海外投資家の利益確定売り等による下押し局面では押し目買いを検討したい。



出所: QUICK

出所: QUICK

図表 6: TOPIX の PER 理論値

		リスク・プレミアム							
		2.9%pt	3.1%pt	3.3%pt	現状 3.5%pt	3.7%pt	3.9%pt	4.1%pt	
円 10年 金利	+40bps	2.83%	17.5	16.9	16.3	15.8	15.3	14.9	14.5
	+30bps	2.73%	17.8	17.2	16.6	16.1	15.6	15.1	14.7
	+20bps	2.63%	18.1	17.5	16.9	16.3	15.8	15.3	14.9
	+10bps	2.53%	18.5	17.8	17.2	16.6	16.1	15.6	15.1
	現状	2.43%	18.8	18.1	17.5	16.9	16.3	15.8	15.3
	-10bps	2.33%	19.2	18.5	17.8	17.2	16.6	16.1	15.6
	-20bps	2.23%	19.5	18.8	18.1	17.5	16.9	16.3	15.8
	-30bps	2.13%	19.9	19.2	18.5	17.8	17.2	16.6	16.1
	-40bps	2.03%	20.3	19.5	18.8	18.1	17.5	16.9	16.3

出所: Bloomberg

図表 7: 日経平均株価バリュエーションマトリクス

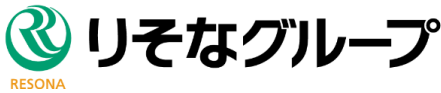
		予想PER(TOPIX)							
		15.5倍	16.0倍	16.5倍	現状 16.9倍	17.5倍	18.0倍	18.5倍	
予想 EPS (TOPIX)	10.0%	242.0	58,100	60,000	61,900	63,400	65,600	67,500	69,400
	7.0%	235.4	56,600	58,400	60,200	61,600	63,900	65,700	67,500
	5.0%	231.0	55,500	57,300	59,100	60,500	62,700	64,400	66,200
	3.0%	226.6	54,400	56,200	58,000	59,300	61,500	63,200	65,000
	1.0%	222.2	53,400	55,100	56,800	58,200	60,300	62,000	63,700
	現状	220.0	52,900	54,600	56,300	57,600	59,700	61,400	63,100
	-1.0%	217.8	52,300	54,000	55,700	57,000	59,100	60,800	62,500
	-3.0%	213.4	51,300	52,900	54,600	55,900	57,900	59,500	61,200

出所: Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



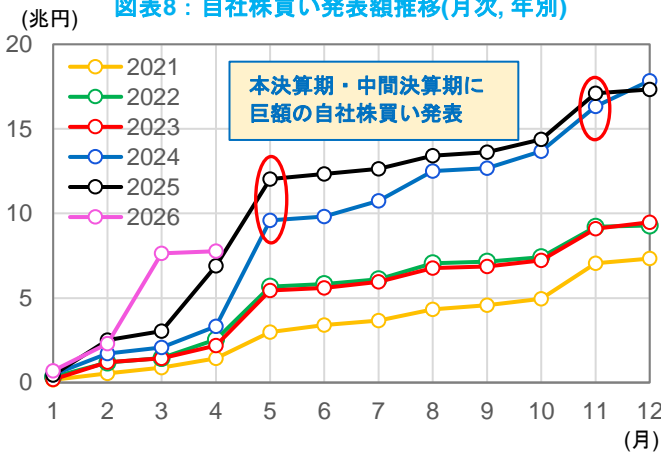
自社株買い動向: 自社株買い余地は 5 兆円程度と推計

自社株買い発表額は過去最高水準(図表 8~9)。26 年 3 月末までの累計自社株買い発表額は、前年同月比で約 150%増加。ただし、一部大手企業による巨額の発表があった点を考慮すると、概ね 24 年、25 年と同程度のペースで発表額は推移しているとみるのが妥当であろう。相対的に規模の小さい企業群にもこの動きが波及するか注目したい。

自社株買い余力(=発表額-実施額)は、5 兆円程度あると推計される。株価下落局面で一定の株価下支えが期待できる(実際、相場が不安定となった 2024 年 9 月や 11 月は、例年になく規模での自社株買いが実施された(図表 10))。

図表 11 は、自社株買いによる EPS 押し上げ効果の試算である。近年、企業の自社株買い実施額が増加傾向にあることから、EPS 押し上げ効果も強まっている。2026 年について、仮に前年と同程度の自社株買いが実施されれば、EPS を 3%程度押し上げると試算される(株価が上昇しているため、前年と同程度の金額だと効果は減少する)。グローバル経済にインフレが定着しつつあることを踏まえ、中期的なインフレ率を 2%と仮定すると、日本株の EPS は少なくとも年間 5%程度の押し上げ効果が安定的に見込めることになる。

図表 8: 自社株買い発表額推移(月次、年別)



出所: QUICK

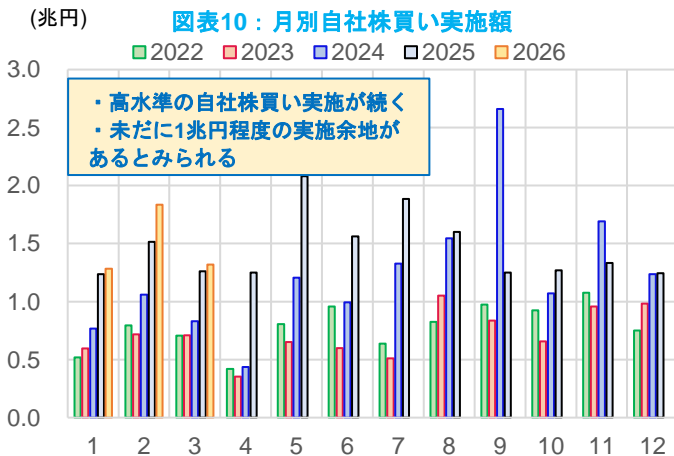
図表 9: 自社株買い余力の推計



出所: QUICK

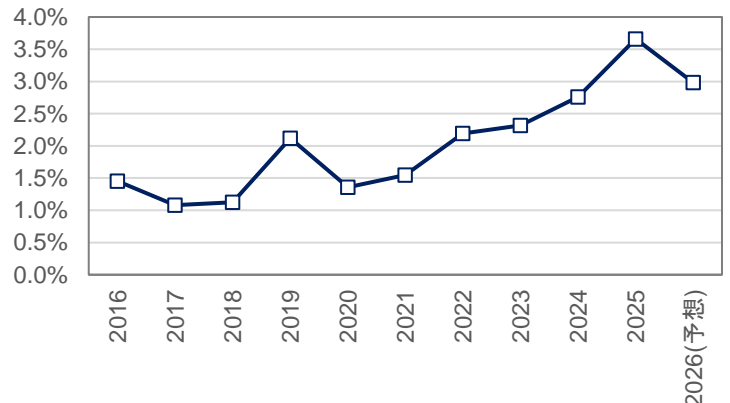
注: 自社株買い余力は、「発表額の 12 ヶ月合計-実施額の 12 ヶ月合計」

図表 10: 月別自社株買い実施額



注: QUICK

図表 11: 自社株買いによる EPS 押し上げ効果

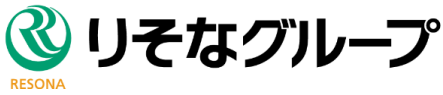


出所: QUICK

◎注意事項

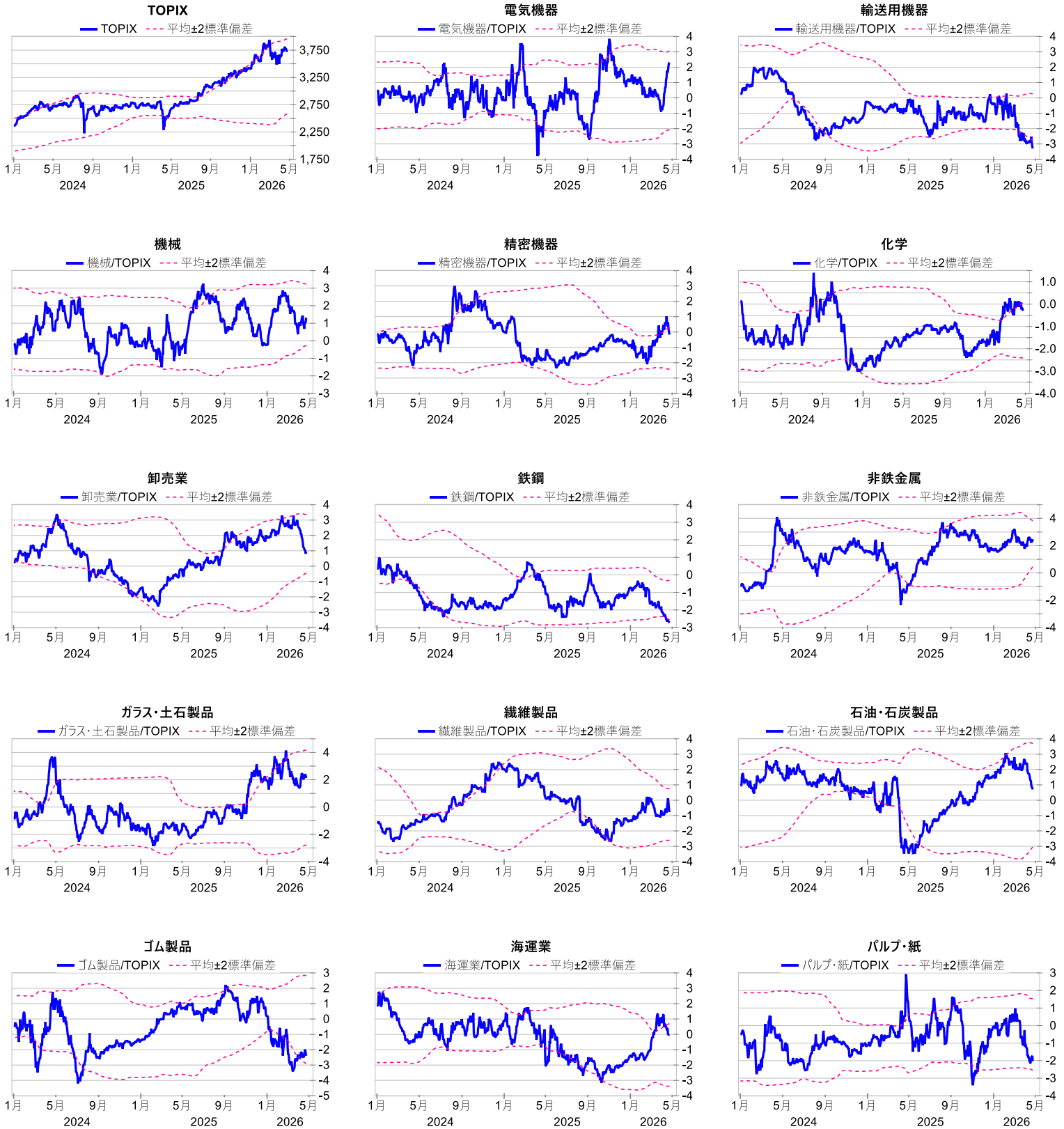
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



株式市場データ集

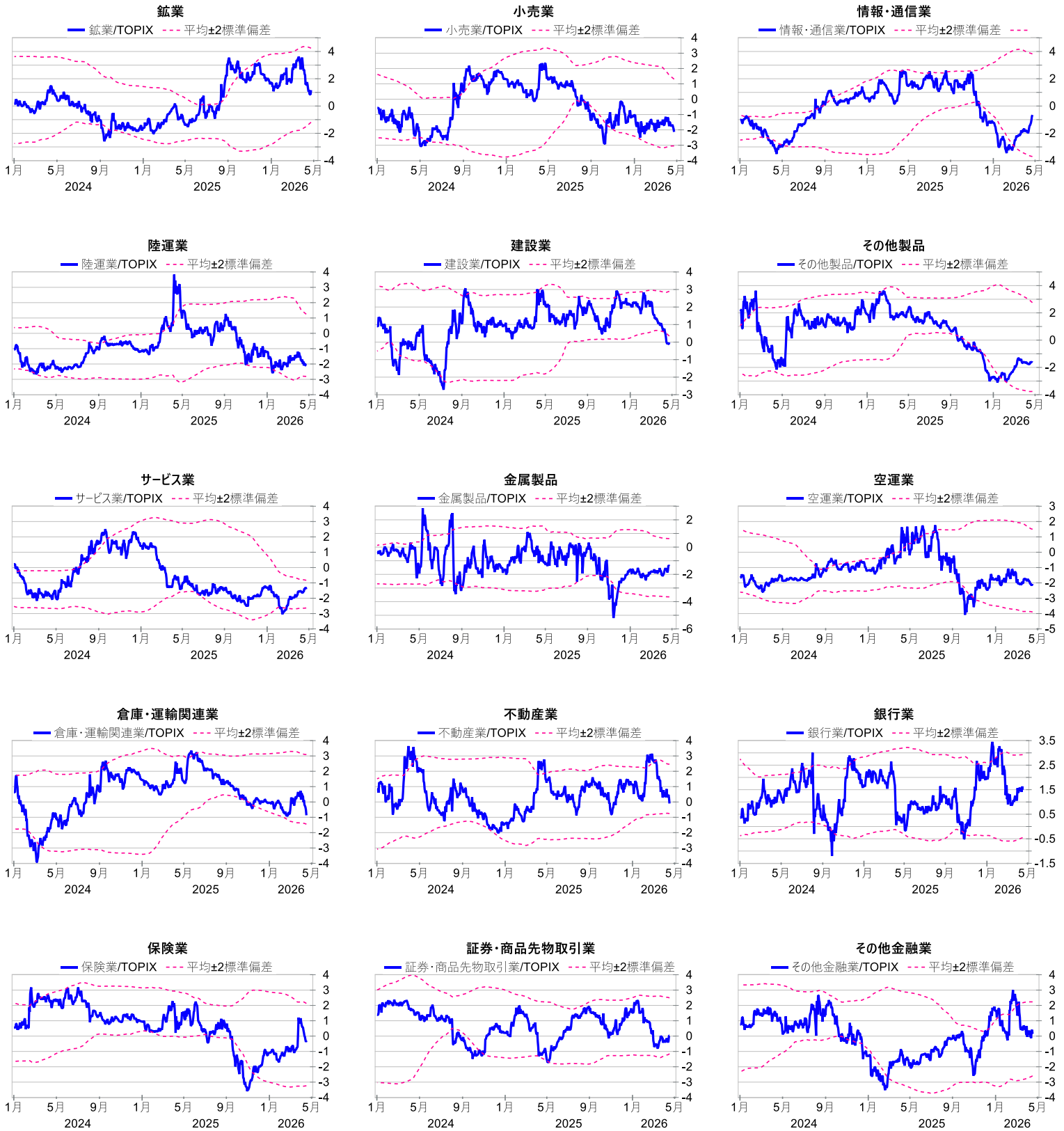
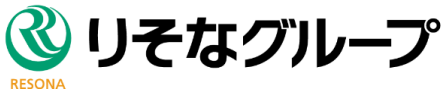
業種別相対株価動向



◎注意事項

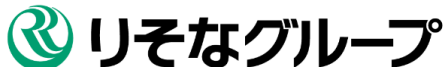
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

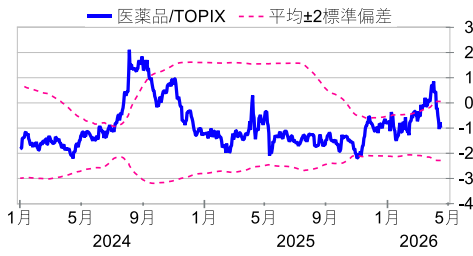


©注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

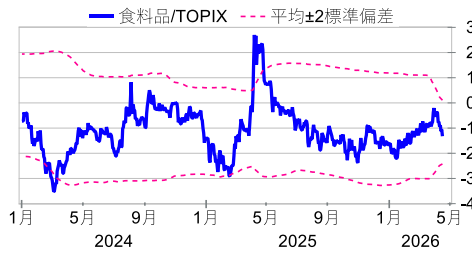
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



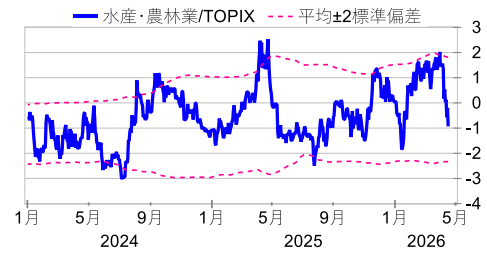
医薬品



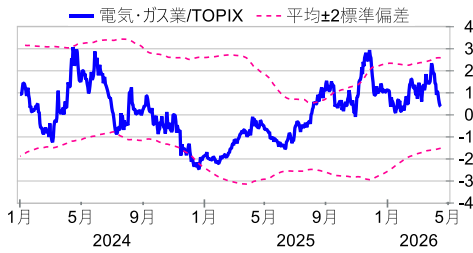
食料品



水産・農林業



電気・ガス業



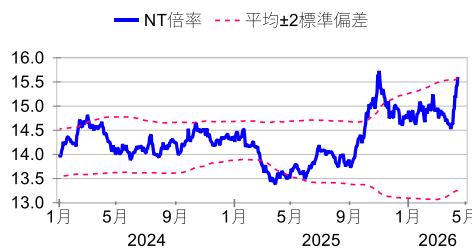
注: 250 営業日のデータを使って標準化した
出所: Bloomberg、マクロポンド

■スタイル別相対株価動向

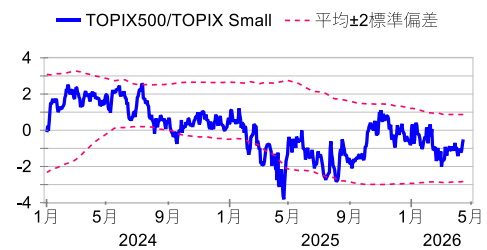
TOPIX/SP500



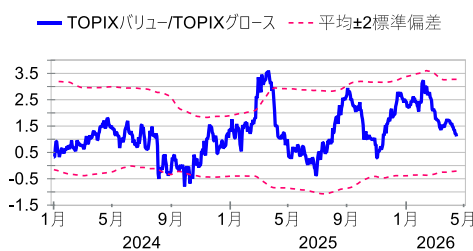
NT倍率



TOPIX500/TOPIX Small



TOPIXバリュ-TOPIXグロース



日経内需50/日経外需50

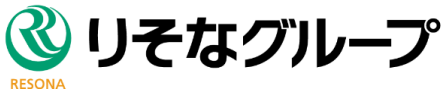


注: 250 営業日のデータを使って標準化した
出所: Bloomberg、マクロポンド

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

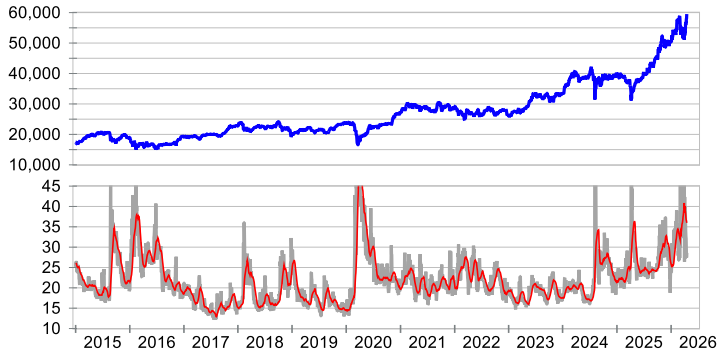
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



■市場センチメント及び株価動向

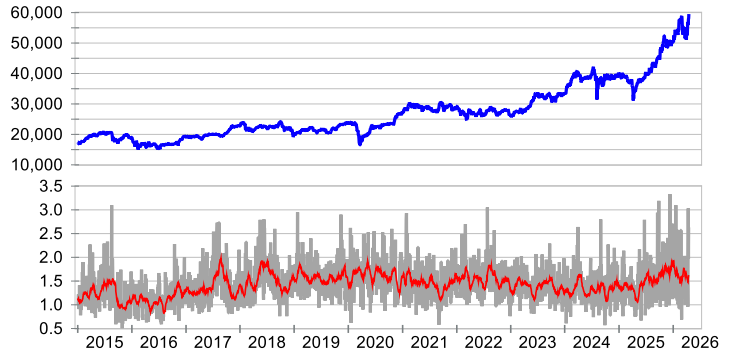
日経VIと日経平均株価

— 日経VI — 日経VI(4週平均) — 日経平均株価



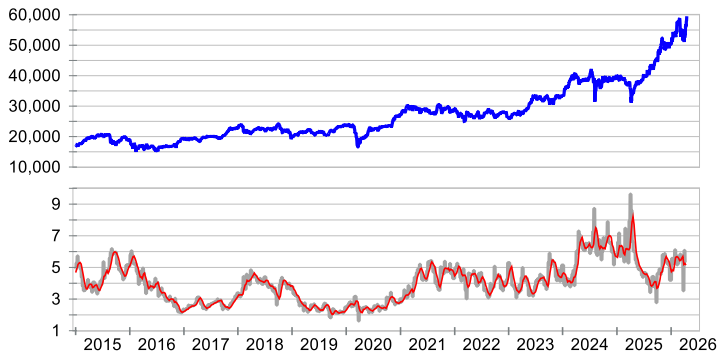
プットコールレシオと日経平均株価

— 日経プットコールレシオ — 日経プットコールレシオ(4週平均) — 日経平均株価



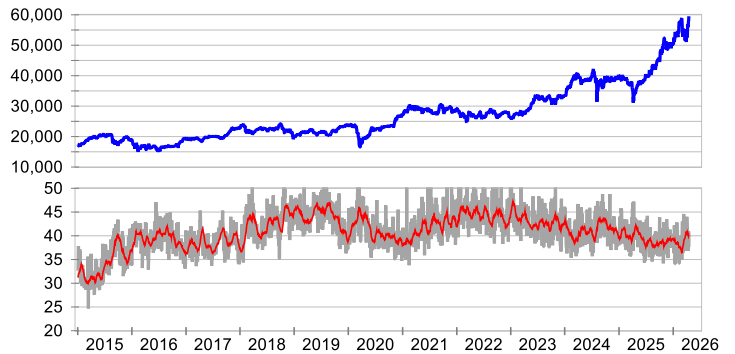
信用倍率と日経平均株価

— 信用倍率 — 信用倍率(4週平均) — 日経平均株価



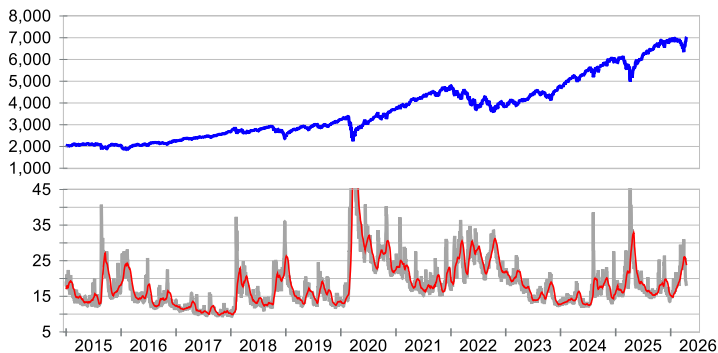
空売り比率と日経平均株価

— 空売り比率 — 空売り比率(4週平均) — 日経平均株価



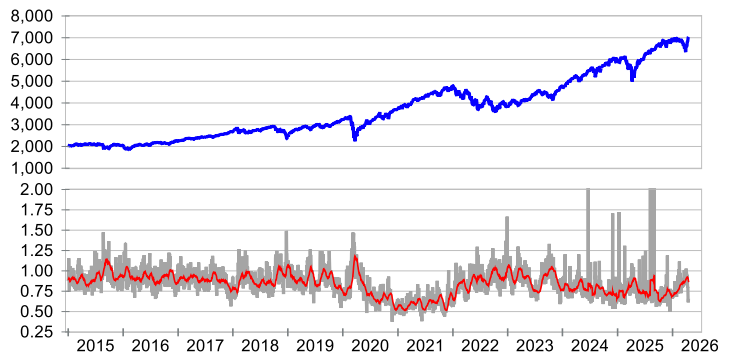
VIX指数とSP500

— VIX指数 — VIX指数(4週平均) — S&P 500種



プットコールレシオとSP500

— プットコールレシオ — プットコールレシオ(4週平均) — S&P 500種

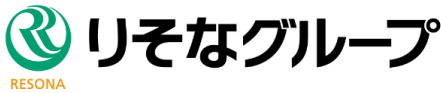


出所: Bloomberg、マクロポンド

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



■バックナンバー(直近発行レポート 50 本)

No	発行日	テーマ	タイトル
306	2025/12/5	日本株	日本株需給(11月25日～11月28日)と Weekly データ集
307	2025/12/11	コモディティ	25年12月豪州概況
308	2025/12/12	米国経済	12月FOMCとマーケット環境の整理
309	2025/12/12	日本株	日本株需給(12月1日～12月5日)と Weekly データ集
310	2025/12/15	半導体, 日本株, 米国株	12月半導体市場及びハイテク株動向
311	2025/12/15	欧州経済	2026年の日本株ストラテジー
312	2025/12/17	米国経済	11月米雇用統計
313	2025/12/19	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
314	2025/12/19	日本株	日本株需給(12月8日～12月12日)と Weekly データ集
315	2025/12/19	日本株	円金利の上昇が日本株に与える影響
316	2026/1/5	日本株	日本株12月レビューと1月見通し
317	2026/1/7	日本株	日本株需給(12月22日～12月26日)と Weekly データ集
318	2026/1/8	欧州経済	25年12月ユーロ圏物価動向
319	2026/1/8	米国株, 米国経済	2026年1月ISM景況感指数と米国株見通し
320	2026/1/9	日本株	日本株需給(12月29日～12月30日)と Weekly データ集
321	2026/1/13	米国経済	12月米雇用統計とマーケット環境の整理
322	2026/1/14	日本株	衆議院解散と日本株への影響
323	2026/1/16	半導体, 日本株, 米国株	2026年1月半導体市場及びハイテク株動向
324	2026/1/19	日本株	日本株需給(1月5日～1月9日)と Weekly データ集
325	2026/1/23	日本株	日本株需給(1月13日～1月16日)と Weekly データ集
326	2026/1/29	米国経済	2026年1月FOMCとマーケット環境の整理
327	2026/1/30	日本株	日本株需給(1月19日～1月23日)と Weekly データ集
328	2026/2/2	欧州経済	25年第4四半期ユーロ圏GDP統計
329	2026/2/2	日本株	日本株2026年1月レビューと2月見通し
330	2026/2/5	欧州経済	26年1月ユーロ圏物価動向
331	2026/2/6	日本株	日本株需給(1月26日～1月30日)と Weekly データ集
332	2026/2/6	米国株, 米国経済	2026年2月ISM景況感指数と米国株見通し
333	2026/2/6	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
334	2026/2/16	日本株	日本株需給(2月2日～2月6日)と Weekly データ集
335	2026/2/16	半導体, 日本株, 米国株	2026年2月半導体市場及びハイテク株動向
336	2026/2/19	米国経済	2月米インフレ率と消費統計
337	2026/2/20	日本株	日本株需給(2月9日～2月13日)と Weekly データ集
338	2026/2/24	欧州経済	25年第4四半期ユーロ圏賃金動向
339	2026/2/26	半導体, 米国株	エヌビディアの決算 FY2026 4Q
340	2026/3/2	日本株	日本株需給(2月16日～2月20日)
341	2026/3/2	日本株	日本株2026年2月レビューと3月見通し
342	2026/3/4	欧州経済	26年2月ユーロ圏物価動向
343	2026/3/4	日本株	10-12月期決算集計と日本株ストラテジー～日経平均株価は26年末に63,000円へ
344	2026/3/6	日本株	中東情勢の悪化と日本株への影響
345	2026/3/6	日本株	日本株需給(2月24日～2月27日)と Weekly データ集
346	2026/3/13	日本株	日本株需給(3月2日～3月6日)と Weekly データ集
347	2026/3/16	半導体, 米国株	2026年3月半導体市場及びハイテク株動向
348	2026/3/19	米国経済	2026年3月FOMCとマーケット環境の整理
349	2026/3/23	日本株	日本株需給(3月9日～3月13日)と Weekly データ集
350	2026/3/27	日本株	日本株需給(3月16日～3月19日)と Weekly データ集
351	2026/4/1	欧州経済	26年3月ユーロ圏物価動向
352	2026/4/1	日本株	日本株3月レビューと4月見通し
353	2026/4/3	日本株	日本株需給(3月23日～3月27日)と Weekly データ集
354	2026/4/10	日本株	日本株需給(3月30日～4月3日)と Weekly データ集
355	2026/4/14	半導体, 米国株	2026年4月半導体市場及びハイテク株動向

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。